

道徳

I 道徳の時間の学習目標

生命の尊さを理解し、自他を尊重する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度を育成するとともに、集団の一員としての自覚と規範意識を高める。

II 道徳の時間の3年の科目構成と学習内容

	「科目」と学習内容・配慮すべき事項	特色ある活動（指導の観点）、関連する行事等
1年	<p>[1学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 日常生活から様々な機会を捉えて、人を思いやる心を育てる</p> <p>(2) 公衆道徳を身に付ける</p> <p>[1学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 心身の健康に心がけ、節度のある生活態度を育てる</p> <p>(2) 他者の立場を理解し、思いやる心を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・伝統文化体験 (礼儀、我が国の伝統と文化の尊重、国際理解) ・上野・浅草探究活動 (礼儀、郷土の伝統と文化の尊重、国際理解)
2年	<p>[2学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 様々な教育活動を通して思いやり、協調、やさしさ、生命の尊さ等の道徳的心情を育てる</p> <p>[2学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 自己の役割と責任を自覚して、集団生活の向上に努める意欲を育てる</p> <p>(2) 互いに高め合い励まし合える友情を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・田植え体験 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・農村勤労体験学習、田植え体験 (礼儀、郷土の伝統と文化の尊重、自然愛護) ・職場体験 (礼儀、社会参画、勤労)
3年	<p>[3学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 主体的に生きていく力を育てる</p> <p>(2) 相手の立場になって考える力を育てる</p> <p>(3) 様々な場面や機会を捉えて道徳的心情を育てる</p> <p>[3学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 相手の立場を認め、助言や忠告を謙虚に受け入れ、自己の向上に生かそうとする態度を育てる。</p> <p>(2) 地域から国際社会にまで目を向け、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・都内巡り ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・アメリカ研修旅行 (集団生活の充実、我が国の伝統と文化の尊重) ・上級学校訪問 (自主・自立、克己と強い意志)

III 道徳の時間の指導方針・指導の工夫

(1) 指導方針

- ・年間指導計画に基づき、生徒や学級の実態に即して指導する。
- ・各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等の関連を踏まえて指導する
- ・生徒一人一人が、自分の問題として受け止められるように指導する。

(2) 指導の工夫

- ・教科、特別活動の関連を深め、様々な場面で関連した指導を進める。
- ・道徳性を養い、判断基準を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う指導を進める。
- ・様々な体験活動を通して、生徒が自ら道徳的意味に気づくように指導する。
- ・ICT機器を活用し、生徒の興味、関心を高めながら指導する。
- ・「心見つめて」「私たちの道徳」や副読本、資料等の活用を工夫し、指導の充実を図る。
- ・保護者、地域、関連諸機関との連携を深め、指導に役立てる。

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 1 学年全員

I 学習到達目標

・生命の尊さを理解するとともに、自然を愛護し美しいものに感動する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度育成する。また、集団の一員としての自覚と規範意識を高める。
 ・教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、広範な通学区域の様々な価値観に触れることにより、自分と異なる考え方を尊重する態度を育てる。また、人間としての生き方についての自覚を深めて、自己の人生を自ら切り拓いていく力を身に付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値による評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

教科書 「中学道徳 あすを生きる」 日本文教出版
 補助教材 「私たちの道徳」 文部科学省、「心みつめて」 東京都教育委員会

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「学習指導要領」の学習内容			教科書等の学習内容
一 学 期	4			6		
	5		A 希望と勇気、克己と強い意志 B 思いやり、感謝 C よりよい学校生活、集団生活の充実 B 礼儀 C 公正、公平、社会正義 B 相互理解、寛容			0. オリエンテーション 1. サッカーの漫画を描きたい 2. 人のフリみて 3. “村人B”には・・・・ 4. 「愛情貯金」をはじめませんか 5. さかなのなみだ 6. 言葉の向こうに
	6		A 向上心、個性の伸長 D 生命の尊さ D 自然愛護 A 節度、節制 C 社会参画、公共の精神 C 遵法精神、公德心			7. 葉っぱ切り絵で見えた道 8. ばあば 9. 木の声を聞く 10. 疾走、自転車ライダー 11. 門掃き 12. 使っても大丈夫? 1学期のまとめ
二 学 期	9			8		
	10		B 友情、信頼 A 自主、自立、自由と責任 C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 C 公正、公平、社会正義 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 C 国際理解、国際貢献 B 思いやり、感謝 B 相互理解、寛容			13. ソウタとミオ 14. 私らしさって? 15. 震災を乗り越えて - 復活した郷土芸能 - 16. どうして? 17. さよなら、ホストファミリー 18. 違いを乗り越えて 19. バスと赤ちゃん 20. 三人の乗客
	10		D 自然愛護 C 社会参画、公共の精神 C 遵法精神、公德心			21. あらゆるものに神は宿っている 22. あったほうがいい? 23. ふれあい直売所
	11		D 生命の尊さ A 真理の探究、創造 C 家族愛、家庭生活の充実			24. あふれる愛 25. iPS細胞で難病を治したい 26. その声は
三 学 期	1		D 生命の尊さ B 友情、信頼	9		
	2		A 自主、自律、自由と責任 C 国際理解、国際貢献 D 感動、畏敬の念			27. ゆうへー生きていてくれてありがとう - 28. 旗 29. 裏庭での出来事 30. おじいさんの100ドル 31. オーロラ - 光のカーテン -
	3		A 向上心、個性の伸長 C 勤労 C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 D よりよく生きる喜び			32. オアシスの老人 33. 私は清掃のプロになる 34. 「肝心」のバスガイド 35. いつわりのバイオリン 1年間のまとめ
				39		
評 価	生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。 「授業内の発言」をさせることにより、授業における態度をはかる。					
	A 主として自分自身に関する事 B 主として人との関わりに関する事 C 主として集団や社会との関わりに関する事 D 主として自然や崇高なものとの関わりに関する事					

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

・生命の尊さを理解するとともに、自然を愛護し美しいものに感動する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度を育成する。また、集団の一員としての自覚と規範意識を高めさせる。
 ・今後の志を立てられるように自分の生き方を考えさせる。一方で、異なる考え方を尊重する態度を身に付けさせ、幅広い視野で物を考えられる人物を育成する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値による評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

教科書 「中学道徳 自分を考える」廣済堂あかつき
 補助教材 「私たちの道徳」文部科学省、「心みつめて」東京都教育委員会

IV 学習計画

学期	月	学習内容		授業時数	備考
		考査	「学習指導要領」の学習内容		
一学期	4		D 生命の尊さ	8	
			A 向上心、個性の伸長		
			B 礼儀		
	5		D 自然愛護		
			A 自主、自律、自由と責任		
			A 真理の探究、創造		
			B 相互理解、寛容		
			A 節度、節制		
	6		B 思いやり、感謝	8	
			C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		
			C よりよい学校生活、集団生活の充実		
	7		D 生命の尊さ		
			C 遵法精神、公德心		
			C 勤労		
			A 自主、自律、自由と責任		
二学期	9		A 希望と勇気、克己と強い意志	6	
			C 公正、公平、社会正義		
			B 友情、信頼		
			D よりよく生きる喜び		
	10		C 家族愛、家庭生活の充実		
			B 思いやり、感謝		
		A 向上心、個性の伸長			
	10		D 生命の尊さ	9	
			C 遵法精神、公德心		
			C 遵法精神、公德心		
	11		A 自主、自律、自由と責任		
			D 生命の尊さ		
			D よりよく生きる喜び		
	12		B 思いやり、感謝		
			C 家族愛、家庭生活の充実		
			C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		
三学期	1		C 公正、公平、社会正義	8	
			A 希望と勇気、克己と強い意志		
			B 友情、信頼		
			A 節度、節制		
	2		D よりよく生きる喜び		
			C 国際理解、国際貢献		
			B 思いやり、感謝		
	3		D 生命の尊さ		
				39	
評価	生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。 「授業内の発言」をさせることにより、授業における態度をはかる。 価 A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること				

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

学習指導要領第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値などによる評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

副教材 「中学生の道徳 自分をのばす」 廣済堂あかつき
 補助教材 「私たちの道徳」 文部科学省、「心みつめて」 東京都教育委員会、自作教材

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書・学習指導要領」の学習内容 補助教材・その他の学習内容		
一 学 期	4 5		B 主として人との関わりに関する事 「山寺のびわの実」 ：互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う A 主として自分自身に関する事 「リクエスト」 ：自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ	8	私たちの道徳 心みつめて 自作教材
	6 7		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事 「襟裳のこと」 ：自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める C 主として集団や社会との関わりに関する事 「監督がくれたメダル」 ：学校を愛し、協力して集団生活を充実させる 「卒業文集最後の二行」 ：正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる	8	私たちの道徳 心みつめて 自作教材
二 学 期	9 10		C 主として集団や社会との関わりに関する事 「元さんと二通の手紙」 ：法やきまりを守り、規律ある社会をつくる	6	私たちの道徳 心みつめて 自作教材
	10 11 12		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事 「ひまわり」 ：人間として生きる喜びについて考えを深める 研修旅行でのプレゼンテーション作成 ：集団生活の充実、我が国の伝統と文化の尊重 「自己を見つめる」 (上級学校訪問の振り返り・私たちの道徳p5) ：自己の向上を図り、個性を伸ばす	9	道徳地区公開講座 「よりよく生きる喜び」 私たちの道徳 心みつめて 自作教材
三 学 期	1 2 3		A 主として自分自身に関する事 振り返り（中学三年生）（中学生生活全般） 来年に向けて（高校生として）（どんな大人になりたいか）	8	私たちの道徳 心みつめて 自作教材
				39	
評 価	生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。 「プレゼンテーション」を行うことにより、それぞれの課題における理解度をはかる。 ※ただし、数値などによる評価は行わないものとする。（学習指導要領による）				